

「地獄絵図から夜明け前に一人類の曙のシリア・アレッポ」 2026年2月18日

神戸市政記者クラブ

「カヨ子基金」代表 佐々木美和

神戸国際支縁機構 会長 岩村義雄

主題聖句 マタイ 26章51節「剣をとる者は皆、剣で滅びる」(『聖書協会共同訳』2018年版)。

<序>

第166次東北ボランティアに2月15日(日)から赴きました。15年前、3.11発生の時も、神戸国際支縁機構は女川原発に向かって神戸をあとにしました。実際には、宮城県石巻市渡波を中心として、「田・山・湾の復活」のボランティアがはじまりました。何もたいしたことができていません。かけがえのない多くの恩人、友、協力者がおられればこそ続けることができています。被災地で親しくなった方の中にはすでに亡くなられた方もおられて天国から見守ってくださっています。

おおざっぱに見積もっても、東北ボランティアだけで、片道約1500キロの道のりを地球の12周(地球一周が約4万kmで計算)していることになりま^さがら^ら先月の能登ボランティアの走行距離は東北ボランティアのおよそ三分の一。九州人吉市相良^はばき^まち^ます^え福岡県朝倉市杷木町松末、佐賀県大町町に傾聴ボランティアのため立ち寄って片道約1200キロです。事故もなく、15年近く、走破しているのも村上裕隆本部長たちの献身的な運転によるものです。私も病み上がりと言えども、帰路、滋賀県甲賀市土山～朝霧はいつものようにハンドルを握ります。九州ボランティアの場合、岡山県倉敷市道口～朝霧は岩村が運転を担当しています。全行程から考えれば、わずかにすぎません。

2026年2月16日、福島県浪江町に生まれた今野寿美雄¹さん[1964-]と福島市のご自宅の公営住宅前の松屋で再会しました。今野さんは「子ども脱被ばく裁判原告団」代表をされ、メディア、映画、被災者支援に目まぐるしく全国から招かれています。

今野さんとは10年近くのつながりがあります。お互いに決まった定収入があるわけではなく、被災者、とりわけ孤児やこどもたちの「いのち」のため戦っています。お金はない。老後の保障はない。国などからの援助はない。ですからフクシマと神戸、離れていても、それぞれ違う道を歩んでいても、一年間ぜんぜん話をする機会がなくても波長が合うのです。



福島市 今野寿美雄(左から二人目)宅の前松屋 2026年2月16日

原発の放射能、ヨウ素131は約8日で減衰します。しかし、セシウム137は約30年経ても半減しません。放射能が1000分の一に縮小するにはざっと300年ほどの期間を要します。「我々が生きているうちに半分になっても完全には消えないもんだね」と技術者だった今野さんと共に嘆息します。映画

¹『中外日報』(2020年10月3日)。

「ワタシたちハニンゲンダ」の^{コウチャニュー}高賛侑監督に電話で紹介し、話し合ってもらいました。日本は非核三原則、非核神戸方式、憲法9条があっても有名無実になりそうな政権与党の勢いがあります。

フクシマ、東日本大震災、能登半島の地獄絵図は、2026年1月にシリア国アレッポを訪問した時に目に焼き付いた光景と同じと言えます。無力感に襲われます。人類はどこへ向かうべきでしょうか。本稿は古典である聖書を引用します。日本人になじみがないから難解と思われるでしょう。シリアやレバノンでも物語として読まれています。夜明け前を見いだします。最後に「非戦憲法」をご一緒に考えます。

目次

(1) 人類文明の発祥の地の悲劇	
a. 平和と戦争は一触即発	3
b. 北東アレッポにおける悪夢の再来	4
c. クルドとは	5
(2) いのちの重みを軽んじない世界	
a. 紛争, 戦争, 悪に黙ってはいけない	7
b. 悪	8
c. 共苦こそ共存への階段	10
(3) 国家と富による支配	
a. 定まらない「民」	11
b. 支配, 殺りく, 抑圧	13
c. 宗教は論争の種か	15
追伸「感謝」 佐々木美和のことば	18



シリア国アレッポ市シェイク・マクスド 家、家族を失った兄弟 2026年1月21日

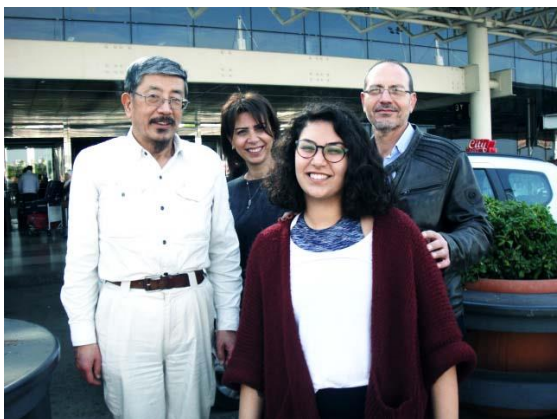
(1) 人類文明の発祥の地の悲劇

a. 平和と戦争は一触即発

2011年、アラブの春²の波が中東に影響を与えました。シリアでも反政府デモがおこり、強権のアル＝アサド[1965-]政権は民衆を弾圧しました。2023年2月6日午前4時17分(日本時間10時17分)。マグニチュード7.8で家屋、道路、学校、病院などは崩れました³。2024年12月8日、アル＝アサド[1965-]政権が終わりました。第7次シリア・ボランティア[2024年12月29日～]では、喜びにわくアレppo市民たちと復興のため植樹ボランティアに汗を流しました。『神戸新聞』(2025年2月21日)。荒廃した地がパラダイスに劇的に変化しました。

しかし、2026年1月6日、アハマド・シャラア⁴[Ahmed al-Sharaa 1982-](通称 アブー・ムハンマド・アル＝ジャウラニ Abu Mohammad al-Jawlani ダマスカス出身)はクルド人と交戦しました。

孤児の家「カヨコ・チルドレン・ホーム」の世話をしてくださるジャック&ネリ夫婦の住む集合住宅も爆破されました。



ジャック、ネリ、ナタリー 2017年12月19日 ベイルート空港。



ナタリーたちとの再会 2023年8月10日。

孤児たちはどうなるのか、いてもたってもいられません。なぜ、と嘆息しました。神戸大学医学部付属病院の外来訪問予約をキャンセルしました。アレppoの孤児たち、難民キャンプの孤児たちが心配だからです。

2011年以降、殺りくの焦土と化してしまった美しい国、人類の曙の乳、蜜流れる地での暴力、殺人、抑圧は日常茶飯事になりました。やがて世界のニュースでも取り上げられなくなりました。

アサド政権は世界最大の難民をつくりました。人類文明の発祥地チグリス・ユーフラテス河畔のシリアは、トンネルの出口を見いだせないカタストロフに追い込まれました。

シリア・アラブ共和国の人口の26,257,408人⁵の内、「多くのシリア国民が故郷を追われ、ピーク時には約680万人が国外で難民として、約760万人が国内避難民として暮らしてきた。この1年で120万人の難民と190万人の国内避難民が帰還したと推計される一方で、いまなお1千万人以上が避難生活を送っている⁶、と。そんな現実絶望してきたからこそ、爆撃被災者、被爆者、民は神にすがるかありませんでした。迫害されたことのない日本人にはどうも理解できない神への具体的志向があります。

² 拙論『人道人類歴史最大の悲劇』—第2次シリア・ボランティア報告(エラスムス平和研究所2018年2月17日5-7頁)。

³ 『NHK』(2023年9月26日午後6時半)。

⁴ 1982年、サウジアラビアの Riyadh 出。ダマスカスで育つ。青年期は医学を学んでいた。父親フサイン・アリー・アッ＝シャルウはシリアのゴラン高原出身、シリア政府の高官、石油経済に関する著者。アサド政権に批判的。武装闘争に反対。兄マーヒル・アッ＝シャルウは1973年、ダマスカス生。医学博士。現在保健大臣。ウィキペディア。拙論「AIでは解決できない今後の世界」(第8次シリア・ボランティア報告 神戸市政記者クラブ 2025年4頁)。

⁵ Worldometer。

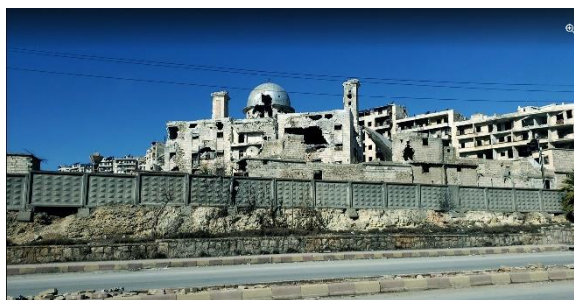
⁶ 『朝日新聞』(2025年12月19日付)。

b.北東アレッポにおける絶え間ない悪夢

レバノン国ベイルートから雪で覆われたレバノン山脈を左右に見ながら車で、シリア国アレッポを目指しました。自動車で国境を越えてシリアに入ると、ホムス、ハマーなどの都市を通過します。いたるところの地域は砲撃、病院攻撃などの抗争の爪痕が散見されます。見渡す限り、街道周囲にまともな家屋は一軒もありませんでした。中東の石造りの建造物墓場でした。イスラエル軍のドローン攻撃により民間人もまるで虫けらのように低空飛行爆撃、ドローン爆撃の犠牲になっていました。

人類は仲良く共存できる夜明けがいつ実現するのでしょうか。武力では何も問題が解決しないことを歴史が証明しています。何が人間として生きる突破口になるのでしょうか。

強権なアサド政権が崩壊して、人類文明の発祥の地、シリア国アレッポは平和を維持できているのか、気がかりでなりません。



北東アレッポのクルド系地区 Sheikh Maqsoud シェイク・マクソウド 2026年1月20日

2025年の時点では、衝突はありませんでした。北東アレッポのクルド系地区群である Sheikh Maqsoud シェイク・マクソウド、隣接する Al-Ashrafiyah アシュラフィーヤ、そして Bani Zaid バニ・ザイドにクルド人 50 万人近くが居住していました。2026年1月6日～12日、そこは灰燼^{かいじん}に帰していました。

クルド人居住区域は厳重に立ち入り禁止でした。シリア政府軍の兵士たちが検問のため立っていました。若い兵士たちは、東洋人、すなわち中国人、韓国人、日本人をほとんど見たことがない様子です。銀河系ではなく他の星雲からきた生き物を見るかのように、とまどっています。片言のアラビア語で「Assalam-ö-Alikum (あなた方の上に平安がありますように)」とあいさつすると、笑顔になり会話が始まりました。生まれてはじめて日本からの旅行者と出会うようです。兵器を装備していないとわかると、警戒心が解かれます。関門を通してくれました。

なぜ、と思わず、目の前の光景を信じられず、立ち尽くしました。自然の災害ではありません。

万物の長と言われている人間の所業です。無人地帯になっています。時折、自分の家の大切なモノをとりに帰ってきているクルド人たちと対話します。涙して、戦禍から逃げた様子を語られます。言葉がわかりませんが、災害ボランティアの度重なる被災者への傾聴ボランティアで避難された人々の苦悩、悲しみ、絶望感が民族、言語、宗教が異なっても響いてきます。佐々木美和も涙が自然に頬を伝いました。

家は家族のぬくもりもすべて消えた。孤立する子供たち。



c.クルドとは

クルド人⁷は「国を持たない最大の民族」です。

1月5日深夜から12日にかけてクルド人とシリア政府軍との間で軍事的紛争が勃発しました。

相手を見ずに、手当たり次第に、みさかいなくドローン攻撃します。民間人、子供も死傷しました。

地元クルド系メディアであるANFは、2025年10月6日に「シェイク・マクソードとアシュラフィーヤで50万人が包囲されている」と報道しました。国連筋によると、2026年年初に14万8千人のクルド人が居住区から避難をはじめたと言います。

地元のクルド系 ANHA の記事では1月10日に男性(49歳)が射殺され、1月22日に家族へ死亡通知書が手渡されたと報じています。

国土をもたない世界最大のクルド人は^{あや}またもや苦境に立たされました。「イスラム国」⁸がシリアに過激な占拠、殺りく、人質を残酷に殺めました。ジャーナリスト後藤健二⁹[1967-2015]氏を1997年にアレッポ北部の街ラッカで首を落とす処刑の映像は全世界を震撼とさせました。2014年初頭以降、イスラム国はラッカを事実上首都として統治していました。2017年9月、米軍の支援を受けたクルド人を主体とした「シリア民主軍(SDF)」はラッカを奪還しました。

ある意味ではイスラム国をシリアだけでなく、中東からほぼ総崩れにさせたクルドはシリアにとって恩人です。だからアサド政権崩壊後、共に新しい国造りに共同歩調をとっているように見えました。



変貌したクルド人地区 2026年1月21日

オスマン病院、アル・シャヒド・ハリド・ファジル病院、マーター・ハーレド・ファジル病院も被害を受け、複数の死傷者が出たと SOHR¹⁰は報じました。「病院内に血があふれている」、「発電機が狙われた」、と。

アレッポ市全体でインフラ復旧は優先事項です。クルド人の行方不明、拘束、暴打、拷問、苦痛死なども SOHR・STJ が報じています。

通っていた学校は現在、シリア軍隊が占拠。1月20日。

⁷ 季刊誌『支縁』No.54 (2026年2月1日 4頁)。

⁸ ISIL アイシル Islamic State in Iraq and the Levant)の阿布バクル・バグダーディはカリフと称し、イラクやシリアでテロ活動。人質を残酷に殺し、世界を震撼とさせた。

⁹ 拙論「イスラーム教はテロではない」(イスラーム教世界大会 英国ロンドン 2015年8月21-23日 6頁)。

<https://kisokobe.sub.jp/proposal/26046/> 「武器よさらば」(神戸新聞会館 2015年2頁)。

¹⁰ シリア人権監視団 Syrian Observatory for Human Rights 英国の非政府組織、監視団体。STJ は Syrians for Truth and Justice「シリアの真実と正義のための団体」。

クルド側なのか政府側(シリア政府軍, 親政府勢力)のどちらが先に攻勢をかけたか, 双方の言い分はくいちがっています。宣戦布告はありませんでした。国際メディアは攻撃者を「政府側」または「複数の武装勢力」と表現しており, 滞在中, 帰国後も決定的なことはわからずじまいです。

国連機関などにより, 夜間タンク・ボトルによる飲料水供給, 仮設浄水設備の設置は1年前のボランティア訪問からほとんどの応急対応がなされていました。しかし, それも束の間でした。ネリさんたちの住まいもまた配管修復→ポンプ再稼働→浄化处理の順で修理におわれていました。大規模被害だと年単位になりますが, 能登半島の最北部の奥能登2市(珠洲市, 輪島市), 2町(能登町, 穴水町)よりは早いように思われました。送水管の補修, 井戸や小規模現場ポンプ復旧に生涯の間に何度も直面したせいでしょうか。シリア人はたくましい¹¹です。一方, クルド人居住地域は復旧の緒についていませんでした。



もうだれもいない。ミラ・アフマド・アキールちゃん(3歳)。

明かりもなくゴースタウンになった。店もない。行く場所もない。



怯えて逃げ回るクルドの子どもたち 2026年1月21日



ボクたちもシリア人だ。2026年1月22日

クルド人は北東シリアの自治地域であるアルハサカ, カーミシュリ周辺などの方向に避難, 移動。その結果, アレッポの人口は大幅に減少したと家を爆破されたアレッポのネリさんから聞きました。

¹¹ ANHA / Hawar News 2026年1月26日。報道は国際通信社(Aljazeera, AFP, ロイター, ジーラ等), クルド側は ANF, Rojava Information Center が報道。

日本に帰国してからこんな連絡もありました。「アレッポの暫定政府拘留で拷問により4人死亡」。

仲が良かった近所の子どもたちの多くは消えてしまいました。幼稚園、学校、病院も被害を免れず友だちはもういません。親戚のおじ、¹²おばが引き取りにきてくださいました。涙がこみあげてとまりません。

「カヨ子基金」の創立の端緒は岩村カヨ子の逝去(2016年10月17日)でした。カヨ子はクルドの写真展を神戸国際キリスト教会で開催しました。「主人は芦屋で英語教室を依頼されたことがあります。そのとき、三浦照子先生のアトリエを用いさせていただきました。先生は恵まれない孤児たちのために絵本を作っておられました。主人がクルド発行の蝶切手が縁でクルド人アフマドさんと親しくなり文通が始まっていました。現地の写真を見て、手の指が小刻みに震えました。9・11テロ以降、2003年のイラク戦争で、米英軍が戦車破壊能力の高い『劣化ウラン弾』¹³を多用していたからです。空爆で痛めつけられたイラン、イラク、アフガニスタンなどの子どもたち支縁、地雷撤去、孤児支縁に被ばく国として何ができるか祈りました。祈りは行動だと聖書から導かれました。写真展、絵本、現地への医学書などを送らせていただくことぐらいしかできません。『千里の道もまず一歩から』とつぐむことから始めました。」

(案内チラシから抜粋 故岩村カヨ子 狩口地域センター 2006年1月28日。)

(2) いのちの重みを軽んじない世界に

a. 紛争、戦争、悪に黙ってはいけない

ウクライナ、ミャンマー、アフガニスタンなど世界の軍事介入の現場を訪問しています。日本国内の情報のみを鵜呑みしていると現地を見誤ります。フェイクなのか何が真か、軽々に答えられなくなりました。

最大の難題はヤコブを祖として、1948年5月14日に建国されたイスラエル¹⁴です。古代のイスラエルが構成する国とはまったく異なります。アメリカ、英国が後押しする植民地主義国家です。決して再建とは言えません。現イスラエルは中東全域の諸悪の元凶になりました。戦乱、抑圧、不幸の種となっています。

冒頭に述べました“アラブの春”の演出も超大国アメリカの政治、軍事、石油獲得に他なりません。

権力者が軍備を増強し、自国の「平和」実現のためと言って、武力に訴える有り様は、ヤトーム(父親がいない孤児)、アルマナ(やもめ)、ゲール(在留異邦人、難民)にとり最悪の不幸です。

アレッポの写真を見て、無関心¹⁵でおられるのでしょうか。無関心は歴史を巡らす入口です。



人が住めなくなった住宅地アレッポ ボランティアの修羅場 アレッポ城前 2026年1月22日

2024年2月24日、ロシアがウクライナ軍事侵攻した時も、ウラジミール・プーチン[1952-]を支持した人は多くはなかったはずです。

¹² 『中日新聞』(2017年7月30日付)。

¹³ 放射性廃棄物(核のごみ)を使用した爆弾。季刊誌『支縁』No.54 編集後記(2026年2月1日4頁)。

¹⁴ 拙論「圧政とシオニズム」(エラスムス平和研究所 2024年8月13日1頁)。

¹⁵ 拙論「石の叫びに敏感であろう」(宮城学院女子大学・大学院 2017年度キリスト教教育特別集会 3頁)。拙論「民主主義の限界に翻弄する人類—ウクライナ戦争やトルコ・シリア大地震を通して」(関西大学 2023年8頁)。『無関心な人々の共謀』(ブルーノ・ヤセンスキ— 江川卓・工藤幸雄訳 河出書房新社 1974年 扉ページ)。

関西大学で、「民主主義の限界」という主題で話す機会がありました。ブルーノ・ヤセンスキー[1901-1939?]の言葉を引用しました。“無関心な人々を恐れよ——かれらは殺しも裏切りもしない。だがかれらの沈黙の同意があればこそ、地上には裏切りと殺戮が存在するのだ”。

『思い出して!』ということは、『忘れないで!』ということでもある。記憶の義務は、記憶力の訓練において、その善用の極みである」とフランスの哲学者ポール・リクール [1913-2005] Paul Ricoeur は武力行使について黙ってはいけなと論じました¹⁶。同じフランスの改革派に属し友であったブラザー・ロジェ¹⁷ [1915-2005] Brother Roge とは信仰面では対照的でした。ロジェはフランスのテゼ Taizé に共同体を造りました。「沈黙」¹⁸、祈りと賛美が特徴でもあります。苦しむ者と「共にいる」という実存的な平和の宗教間の壁を取り除きました。ローマ・カトリック教会とプロテスタント教会の分断からエキュメニカルなユートピアの実現に至らせていました。日本から仏教僧侶などもテゼでの共同生活に加わっています。

理論派リクールと実践派ロジェは真逆な歩みです。私事になり、恐縮ですが、私は 39 歳から 40 歳になろうとしていました。宗教遍歴¹⁹をしていたため、人生を春夏秋冬にたとえるなら、晩夏にさしかかる年齢でもありました。リクールが属していた改革派の神学を学び出しました。リクールの聖書解釈学²⁰は難解でした。浅学非才ゆえです。リクールは「過去を忘却させないための正義の論理」を求めました。「建国時の暴力の遺産である。戦争との原初的といえる関係から生まれなかったような歴史的共同体が存在しないことは事実である」²¹と。リクールはユートピアを目指していた理論派でした。1995 年に、神戸国際キリスト教会が産声をあげた時、イデオロギーとユートピア、理論(神学)と実践のどちらに比重を置くべきか生塾^{なまじゆく}でした。なにしろ神学と実践面の両方が求められました。教会の会堂を建てる目標も忘れ、会議室を借りて、すでに 30 年近くになります。「しゃべくりより現場での実践」をたいせつにしています。傍観者、アウトサイダー、専門家であってはならないと心がけるようにしてきました。みんなで助け合う血の通ったコミュニティづくりに仕え出します。キリストご自身が他者のための存在でした。沈黙を離脱しました。他者への「介入」に舵を切りました。

b. 悪

シアラ大統領たちの現シリア政府関係者と「シリア民主軍(SDF)」はアサド独裁政権に抵抗、打倒、崩壊させるために共通の目的をもっていました。スクラムを組んでいたのです。1 月のシリア政府軍とクルドの戦闘はどちらが正義で、どちらが悪なのでしょう。明確に雌雄を決する判断はできません。どちらにも言い分があり、何が正義か即答出来ません。だからといってアレッポの犠牲を放置してよいものか、「傍観」する不正義か、それとも犠牲が生じる「介入」という正義を選択しますか。自己放棄こそ宗教の最高の道です。そうでないと破局にむかってまっすぐに突き進む懸念があります。アラビア語のできない現地に入って、何ができるでしょうか。自分に感化を与えた養育、教育、成育の三者²²を絶対的な規準にして相互理解が深まる保証はありません。頼れる日本大使館、日本のメディア、日本からの支援団体もありません。悪魔の不気味な笑いが聞こえてきます。幻聴ではないことを断っておきます。

¹⁶ 『記憶・歴史・忘却』(上)(ポール・リクール 久米博訳 新曜社 2004 年 145 頁)

¹⁷ 超教派キリスト教団体「テゼ共同体」創始者。本名ロジェ・レイ・シュッツ=マルソーシュ。スイス生。代々プロテスタントの改革派。

¹⁸ 『テゼの源泉: これより大きな愛はない』(ブラザー・ロジェ 植松功訳 ドン・ボスコ社 1996 年)。リベラルでも保守でもなく、ローマ・カトリック教会でもプロテスタントでもない。理想主義的なものだ。その強みは、あらゆる解釈を許すメッセージの詩情にある。二つ目の強みは、流行への抵抗力だ。確信とキリスト教的アイデンティティの再確認に反対している。

<https://www.theguardian.com/news/2005/aug/19/guardianobituaries.religion> 荘厳な教会のグレゴリオ聖歌、讃美、ヘブライ語讃美歌にない内なる光が祈り、神への賛美が場にこもっている。讃美歌と言えば、日本の葬儀などでは歌われない故にあこがれられる印象がある。教会では、奏楽者、聖歌隊など個人の賜物が尊重されている。一方、テゼでは神を賛美する姿勢に徹底している。個人の音楽への努力、練習成果、能力に栄光が帰せられることはない。

¹⁹ 拙論「現代キリスト教弁証学」(中央聖書神学校 Central Bible College 2023 年度)。

²⁰ 『聖書解釈学』(ポール・リクール 久米博、佐々木啓訳 ヨルダン社 1995 年 376 頁)。

²¹ 『記憶・歴史・忘却』(上)(同 139 頁)。

²² 拙論「宗教はコロナウイルス後の社会をどう目指すか」(WCRP 平和大学講座 2022 年 18 頁)。

悪(災い, 災難, 苦難)について, 旧約聖書では, רָעָה ラア, נִגַּף ネゲフ(7回), מָכָה マッカー(48回), הוֹרָה ホーヴァー(3回), צָרָה ツァーラー(71回), מִגְּפָה マグゲファー(26回)などのヘブライ語があります²³。「רָעָה ラア²⁴」(悪)は旧約に 345 回出ています。創世記の「善悪の知識の木」は“טוֹב “トーブ(良い)”と“ラア”から成り立っています。「光を造り, 闇を創造し 平和を造り, 災いを創造する者。私は主, これらすべてを造る者である」という歴史に介入なさる神は, 「平和(שָׁלוֹם)シャローム)」と「災い(ラア)」を創造[ヘブライ語 בָּרָא バラー]なさいました。(イザヤ 45:7)。

神が「災い」をもたらす方とは一般にはすんなりと受け容れられていません。むしろ人類を苦しめてきた諸悪の根源はサタンに帰するのがキリスト教福音派²⁵やものみの塔聖書冊子協会の理解であります²⁶。聖書を二元論のプリズムで読み込むと排他的な教条主義に陥ります。ゾロアスター教などペルシアの宗教も善悪闘争歴史の傾向があります。神とサタン, 善と悪, 光と闇の対立が決着する終末論もいつの時代も民を熱狂させ引き金(トリガー)になってきました。しかし, 聖書は最初から神に反逆する対抗馬のように悪魔がいたのではありません。「甚だ善かりき(トーブ)」通りでした。(創世記 1:31 『文語訳』)。万事, 神の御心のままに始まり, 御心のままに神に戻るようになっていきます。

オーストリアの心理学者, 精神科医であるジークムント・フロイト[1856-1939]は, 理論物理学者アルベルト・アインシュタイン[1879-1955]と「ひとはなぜ戦争をするのか」の真摯なやりとりをしました。フロイト自身は書簡を交わした際, ひとは戦争をなくせるか, とアインシュタインに問うたりしています。フロイトは人間には「生の欲動(エロス)」と「死の欲動」(タナトス)という二つの欲動が備わっていると考えていました。欲動とは言の作用がもたらす「欲望」や, 生理的な「欲求」とは異なります。心よりもむしろ身体に深く根ざしたある種の傾向, ベクトルのことを指します。「死の欲動」は, 破壊し, 殺害しようとする欲動だという概念をつまびらかにしました。フロムの「激情 passion」は個人の社会化や自己実現の方向により建設的にも破壊的にもなりうるエネルギーです。一方, フロイトの「欲望動 trieb(独)」は戦術的断罪(「悪」とは言えない説明的概念です。欲動についてドイツの精神分析学者エーリヒ・フロム[1900-1980]は, 「欲動」を「激情」という視座からとらえています。「『激情』の型がある。《原初的な『血の渇き』》(archaic “blood thirst”)である。これは無頼者の『激情』ではなく野生とまだ完全に切り離されていない状態の人間の血の渇きである。これは前向きに, 一人前の人間になることを恐れるがために, 生を超越する方法として, 殺すことに熱狂するのである……《血》は生の本質となり, 他の何物にもまさる強くて独自のものとなるのである。殺しは最も原初的な水準で, 非情な興奮となり大きな自己確認となる²⁷」, と。フロムは権力者が血に飢え渇くように人を殺める激情を内包していると考察しています。独裁者, 君主, ワンマンな権威者に見られる属性, 本質, 性向などの断面図です。

2024年12月8日に崩壊したアサド前大統領の足跡は殺害, 拷問, 性暴力の激情に満ちていました。解放され, ユートピアが充満していた協働のエートスはほぼ一年で雲散霧消となりました。「なぜか」。今年, 1月, 再びゴースタウンになったアレppo市のクルド人地区で唾然となりました。イスラエルなどからの容赦ない攻撃を受けてきたシリア人と祖国を持たないクルド人の衝突, どちら側が正義なのでしょう。戦争という悪は人間の良心を麻痺させます。戦地に足を踏み入れたとたん, 「忖度」, ミラーリング(同調行動), 無関心のエトス²⁸ (習慣)とエトス(人柄)では解決への道のりは行きづまり, 視界不良の渾沌でした。

国際社会は, 2011年, シリアのアサド政権におけるジェノサイドを黙殺しました。歴史は繰り返します。

²³ 拙論「災害と聖書の神—貧しい人・被災者は幸いである」(神戸国際キリスト教会 2019年 1頁)。

²⁴ 拙稿『目録』誌 No.29 (2003年 8頁) なぜこんなにわざわざがあるのか。

²⁵ 拙論「宗教帝国のエクスターシアが世界を滅ぼす—第1次ウクライナ・ボランディア報告—」(佐々木美和共 2022年「カヨ子基金」10頁)。

²⁶ 『サタン:その正体と最後』(ハル・リンゼイ 松代幸太郎訳 いのちのことば社 1975年)。

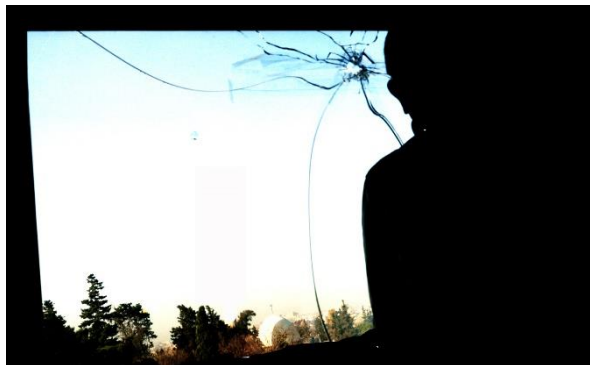
²⁷ 『悪について』(エーリヒ・フロム 鈴木重吉 紀伊國屋書店 1974年 32頁)。「生」とは個人の歴史的存在性(生きられた物語=物語的アイデンティティ)と倫理的価値の場を含む概念です。そこで犠牲者の「生に注目した価値」を考察する。

²⁸ 『アリストテレス全集』13 ニコマコス倫理学 (加藤信朗訳 岩波書店 1997年 39頁)。拙論「動物への謝罪と責任—人類と自然の共生への時代—」前半 (いのち会議 大阪大学 SSI 2024年 7月 4日 18頁)。

c. 共苦こそ共存への階段

シリアの^{ごくかん}極寒がこたえました。暖房なし、薄い寝具で、翌朝、カーテンをあけると窓は銃弾が貫通した穴があいていました。道路、部屋、街も凍り付いていました。食べるものもありませんでした。

現地の行くあてのない子どもたちとの「共苦」が悪条件を忘れさせてくれました。感謝なことです。人間は自分自身が「困苦」するだけでなく、苦しむ人と共に苦しむことができる「共苦」する存在だからです。



冷え切ったアレッポの早朝 2026年1月22日



美和は 激戦地でだっこをせがまれる

ウクライナ、ミャンマー、シリアの母親たち、子どもたちは戦闘からむずかしいたくさんの決断を迫られてきました。離村、出国、難民キャンプでの貧困、逃げまどう、乳が出ない生活です。

「共苦」とは、自分自身の問題として、私たちが痛み、苦しみ、抑圧に共感と共苦をすることが求められます。「また、群衆が羊飼いのいない羊のように弱り果て、打ちひしがれているのを見て、深く憐れまれた」(マタイ 9:36)の「深く憐れまれた」(σπλαγχνίζομαι スプランクニゾマイ *splagchnizomai*)は日本語に適切な言葉がなく、琉球のチムグリサ(胆苦しい)が一番ふさわしいかもしれません。「ですから、あなたがたは神に選ばれた者、聖なる、愛されている者として、憐れみの心 [スプランクニゾマイ]、慈愛 [οἰκτιρισμός オイクティモス *oiktirmos*]、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい」の精神態度が求められます。(コロサイ 3:12)。「あなたの民があなたに対して犯した罪、あなたに対する反逆の罪のすべてを赦し、彼らを捕らえた者たちの前で、彼らに憐れみ [ラハミム] を施し、その人々が彼らを憐れむようにしてください」(I列王 8:50)と旧約で書かれている憐れみ[ヘブライ語 רַחֵם *racham*「憐れみ、同情、子宮、胎」]も新約と同じです。

「子どもであれば、相続人でもあります。神の相続人、しかもキリストと共同の相続人です。キリストと共に苦しむなら、共に栄光をも受けるからです」(ローマ 8:17)と書かれています。共存を願うならば、「共に苦しむ」(συμπάσχω スムパスコー スン「σύν 共に」+πάσχω パスコー *sumpascho*「苦しみを受ける、苦難を経験する」参照 マタイ 17:12, 使徒 1:3)のために、苦縁²⁹により、ギリシア語スプランクニツォマイは英語で、have a compassion with~です。人類全体がチムグルシーの感性をもって、中東の惨劇について共苦していかなければなりません。

戦争、開発、原発で自然界が損なわれると腸^{はらわた}が突き動かされるのと同じです。

(3) 国家と富による支配

a. 定まらない「民」

2020年7月4日、球磨川氾濫による60名を超える死者と行方不明者。約1,020ha、約6,100戸の泥の被害。一級河川球磨川の氾濫について、泥で覆われた人吉市ではダムについて人々はどんな反応を

²⁹ 書籍『苦縁』の著者北村敏泰氏が東北ボランティアに同行。機構は日本の伝統諸宗教、新宗教へと対話の道が開かれた。

したか証言します。ダムは下流流域に住む民の安全の保障、担保、確約になりましたか。現場に居合わせました³⁰から証人として報告します。球磨川上流の「市房ダム」[1960 年建造]が“放流³¹します”と拡声器を通して警告されました。それを聞いた住民たちの声も翌朝の 7 月 8 日、あちらこちらで耳にしました。しかし、権力者である県、市、マスコミが「放流はなかった」と発表するやいなや、民は 180 度異なる立場に変わりました。ゆれる「民」について、イタリアの哲学者パオロ・ヴィルノ[1952-2025]は民を「マルチチュード」と祖述しました。マルチチュードとは、「統一化されることなく、あくまで複数の多様な存在であり続ける」³²、と概念を説明しました。

聖書ではマルチチュードをギリシア語オクロス ὄχλος ≪無組織の多数の群集の意≫として叙述します。「群衆は、前を行く者も後に従う者も叫んだ。『ダビデの子にホサナ。主の名によって来られる方に祝福があるように。いと高き所にホサナ。』」と叫びました(マタイ 21:9)。オクロスは権力ある為政者、律法学者ではありません。続いて、民は叫びます。『十字架につけろ。』、と 180 度、手のひらを返した反応をします。(マルコ 15:13)。「祭司長たち³³や長老たちは、バラバを釈放して、イエスを死刑に処してもらおうようにと群衆を説得した」のです。「説得する」(ギリシア語 πείθω *peitho* ≪説き伏せる、確信をいだかせる。おだてて～させる≫の意)と記されているようにオクロスをそそのかしました(マタイ 27:20)。十字架刑の時、聖職者たちは率先して、叫んでいます。「祭司長たちや下役たちは、イエスを見ると、『十字架につけろ』と叫んだ」(ヨハネ 19:6)。「十字架につけろ」と言わせた黒幕がいました。ユダヤ教の聖職者たちに焚きつけられ、オクロスは 180 度、豹変しました。「悪」に陥るのは、何が起きているのかを考えない心(心構え)に起因します。「判断する」(ギリシア語 κρίνω *クリノー* は a reasoned statement or augument ≪識別³⁴する≫の意)力が大切です(I コリント 11:13)。

ベンヤミン・ネタニヤフ[1974-]イスラエル国首相やドナルド・トランプ[1946-]米国大統領のような支配者は、「かき立て」、「騒がせ」ます。「私は主、あなたの神 海をかき立て、波を騒がせる者。その名は万軍の主」(イザヤ 51:15)、と聖書はそそのかせられる定まらない民を海にたとえています。

国家、宗教、民もゆらぐ存在です。民衆の心変わりについて、2020 年 7 月 10 日からの第 2 次球磨川ボランティアの報告でフランスの経済学者ピケティ[1971-]を援用しました。“すでに格差社会から、階級社会になっていると。ピケティは著書『21 世紀の資本』で「富を社会の上位集団に集中させたほうが、経済を効率的に運営できる」³⁵、と述べています。

一方、キリストは、「財産のある者が神の国に入るのは、なんと難しいことか」、と民が欲望のままに目指すことを批判されました(ルカ 18:24)。さらに、「あの狐」と、キリストはガリラヤの領主ヘロデ・アンティパスの狡猾さをためらわず広言しました。(ルカ 13:32)。

トランプ、ネタニヤフ、ロシアのプーチン、習近平^{シーチンピン}[1953-]は「民」を屈服させる軍事力、法、警察などを動かす権限を有しています。そんな表面的な権力は被造物のいのちまで支配できません。「殺すぞ」と民を威嚇してもいのちを奪えません。なぜなら政治家、天皇、王などの権力者がもたらす「死」、およそ 2 千前のあの時、イエスを十字架で処刑しても効力がなかったことを証明したからです。

政治権力以外に民に君臨している官僚、社会の上層部、経済的強者についてもキリストは黙っていませんでした。

「そこで、イエスは言われた。『異邦人の王たちはその民を支配し、民の上に権力を振るう者が恩人(εὐεργέτης *euergetes*)と呼ばれている。しかし、あなたがたはそれではいけない。あな

³⁰ 拙論「第 1 次球磨川(熊本豪雨)ボランティア報告」(神戸国際支縁機構 2020 年 7 月 4-6 日 1 頁)。

³¹ 『球磨川流域豪雨災害とダム問題』(「清流球磨川・川辺川を未来に手渡す流域郡市民の会」(略称・手渡す会 すいれん舎 2025 年 210,249 頁)。

³² 『マルチチュード』(上) ≪帝国≫時代の戦争と民主主義アントニオ・ネグリ、マイケル・ハート 幾島幸子訳 NHK ブックス 2008 年 171 頁)

³³ 拙論「キリスト教と難民」(神戸国際キリスト教会 2021 年 8 頁)。

³⁴ 拙論「石の叫びに敏感であろう」(宮城学院女子大学・大学院 2017 年 9 頁)。

³⁵ 拙論「第 1 次球磨川ボランティア報告 2020 年 7 月 4-5 日 2 頁)。

たがたの中でいちばん偉い人は、いちばん若い者のようになり、上に立つ人は、仕える者のように
なさい(ルカ 22:25,26)。

「恩人」(守護者)³⁶とはだれのことですか。貧者、子ども、難民などの弱者を不可視化している人たち
です。当時のローマ社会で役所に務め、水道橋など公共事業を行っており、市民、村民、役場で公的
な名声を得ていた人々です。いわゆる飛鳥時代からの貴族、中央政府の御用聞きである知事、市長、
福祉などの公務に携わる地域の有力者です。裕福な層に、キリストは明言しておられました。

「恩人」や、「財産のある者が神の国に入るのは、なんと難しいことか」(ルカ 18:24)。

「私が来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである」、というイエスの宣告を忘れて
はなりません(ルカ 5:32)。「心の定まらない者たち、心を清めなさい」(ヤコブ 4:8 『新共同訳』聖書)で
「心の定まらない」(ギリシア語 δΐψυχος ディプシュコス *dipsuchos*)は「二心」³⁷と他の訳では訳します。
つまり、「二心」をもつように仕向けられる民を為政者は操縦します。なぜなら「心定まらない」民が選んだ
上位の政・官・財・学も者も「二心」を巧に利用するからです。「見よ、その人は悪事を宿し 害毒をはらみ、
偽りを生む」と聖書は悪の正体をつまびらかにします。平気で目的のためなら「偽り」(ヘブライ語
שָׁקֵר シェケル「虚偽、だまし、嘘」の意)(詩編 7:15)です。「人々は互いに空しいことを語り 滑らかな
唇で、二心をもって語ります」にある「滑らかな」(לֶקֶק ハラーク「へつらい」の意(Ⅱ 12:3)、「私の敵は
意気盛んで、数を増し 私を憎む偽り者」(Ⅱ 38:20)。「正しき者は偽り
の言葉「シェケル」を憎み 悪しき者は腐臭を放ち、辱められる」には、ヘブライ語 בַּאשׁ (バアシュ
baash「死んだ魚、カエルの腐臭」)を発散しています。(箴言 13:5)。

2018年に訪朝した際、平壤近くの山ははげ山が多いのは「木を伐採して、耕地にしたからではない」、
と同行者の友井公一[1931-2016]さん(社会党議員)は笑顔で言われました。続けて、「共和国(朝鮮民
主主義人民共和国のこと)で民の上に立つには軍事力、頭の良さとかではない、民にオンドル暖房
を担保できる指導者でないとだめなんだ」と。極寒の地で権力者になる秘訣を耳打ちされました。
寒冷の白頭山が政治上のシンボルとして人民の拠り所なのは民を温める象徴かと、わかったようでわ
からないまま「北東アジアの歴史」として胸に収めました。

アレッポ、ウクライナ、ミャンマーの民の苦悩、悲しみ、涙に冷たい仕打ちが定着しています。

たとえば、メディアから入ってくるロシア対ウクライナの和平交渉は公正と言えますか。

2022年2月24日、ロシアがウクライナへ全面侵攻を開始してから4年になります。旧ソ連がナチ
ス・ドイツの侵攻を撃破した独ソ戦争の3年11ヵ月をすでに上回っています。「停戦」、「和平」の交渉は
なんと開かれてきましたか。大国アメリカが加わって交渉はどうなりましたか。和平ではなく、新たな不
安定な始まりが皮切りになっていませんか³⁸。人的被害では、ウクライナの死傷者は約60万人、ロシア
はその約2倍とされます³⁹。神戸国際支縁機構は2022年に孤児の家をつくるためにウクライナを訪
問。第2次、佐々木は8月に単身足を運びました。訪問中も、ロシア国家はその後ウクライナの首都
キーウをはじめ広範な地域でエネルギー施設などの民間施設に対し、ミサイルとドローンによる攻撃を
激化させてきました。電力や暖房システムの破壊を繰り返しています。今や、ザポリージャ⁴⁰、ヘルソンな
どのウクライナ人はロシア旅券を取得していなければ、海外との行き来ができません。

³⁶ 「公職者(行政官)Magistrates(マジストレイト)」、「外交官」、社会的強者(Officialdom)」、つまり「学歴」「職権」「社会的名声」といった背
景を持つ強者は、貧者、子ども、女性などの弱者を不可視化している。日本のメディアや、大学の学術論文、宗教メディアも第一面に
非暴力運動をとりあげているだろうか。あたりさわりのない知識人を用いて無難な編集をしているとしか思えない。戦争の克明な情報を
提供だけで使命を果たしていることにはならない。「戦争 No!」だ。黙ってはいけなない。

Frederick W. Danker “Benefactor: Epigraphic Study of a Graeco-Roman and New Testament Semantic Field” Clayton Publishing
House, 1982, p.317-324.

³⁷ 拙論「石の叫びに敏感であろう」(宮城学院女子大学・大学院 2017年 11頁)。

³⁸ 『毎日新聞』(2026年2月10日付)。

³⁹ 『東京新聞』(2026年2月23日付)。

⁴⁰ “UINNO NEWS”(July 10, 2023), 『クリスチャントゥデイ』(2023年7月1日)。

親しくなった A さん(36 歳)はキーウ(キエフ)などの町案内をしてくださるばかりか実家のブッチャで家族との会食に招いてくださいました。兵士の召集令状が 2022 年秋に来ました。東部の最前線に遣わされました。すぐに終わるだろうと信じていたそうです。そのうちに日本への通信に別人のように変貌した彼の画像を見たとき、同じ人物とは思えませんでした。『昨日、今日も人殺し、オレは地獄の使者になった』、『日本へ行きたい』、と。しかし、ウクライナ人はだれひとりパスポートを申請し、所持している人はいません。海外渡航禁止だからです。

1997 年 10 月、北海道のアイヌの聖地である二風谷^{にぶたに}⁴¹にダム建設反対運動がありました。裁判所による不許可の判決を無視して国はダムを造りました。さらに上流に平取ダムをも建設しました。人間による人間の奴隷化です。とりわけマモン(富)崇拝ともいうべく「富」が偶像として自然を破壊し、アイヌ、先住民族を疎外してきました。権力者は富を常に掌握し、地位の安泰のために効果的に用いています。しかし、アイヌはだんだんと僻地においやられ、苦悶⁴²しています。

創世記 11 章に登場するニムロド⁴³以来、「国家」と「富」は支配者、君主、王にとり必須の威光と言えるでしょう。ニムロドは最初のエクスターシア(権力)の頂点です。社会的に名声をほしいままに君臨してきました。政界、財界、宗教界もヒエラルキー(ピラミッド型社会)をその後の歴史に継承した創始者です。支配者の冠、椅子、地位のために途切れることのない権力闘争が繰り広げられてきました。

「新〇〇」を掲げる旗は世界の貧者の苦悩を解放したのでしょうか。1980 年代に英国のマーガレット・サッチャー[1925-2013]、ロナルド・レーガン[1911-2004]米国大統領の登場は変換の転換点となりましたか。否、新自由主義(ネオリベリズム)は、規制緩和、社会保障縮小、自己責任をかかげました。日本の小泉純一郎元首相[1942-]と、経済学者竹中平蔵[1951-]は派遣社員、非正規雇用などにより所得格差を広げました。

その結果、貧困のアリ地獄から出られなくなる階級社会が定着しました。神戸国際キリスト教会の福岡真悟さんは派遣社員として家族を養いました。収入を聞くと、残業手当、ボーナス、退職金なしでした。現在、香港の日本企業でポストを得て、勤務しながら、家族に必要なものを満たしておられます。阪神・淡路大震災を経て、港湾都市の神戸であるまま非正規雇用であったなら、二人の子どもが大学を経て、医者を目指すような進路の選択肢は望めなかったちがいありません。

フクシマ、被災した能登半島、震災の爪痕から逃れられず心が折れたままの被災者たちと心を通わせ始めました。毎月、寝袋をもって、車中泊をいとわず、東日本大震災をはじめ共感する人たちの許へ通い続けています。もう 15 年になろうとしています。何もたいしたことができていません。

b. 支配, 殺りく, 抑圧

危機管理のための防衛産業

2016 年 12 月、西田一平太笹川平和財団研究員は語りました。鹿島平和研究所委託事業による「自衛隊の新任務:問われる積極的平和主義の真価」の中で、『積極的平和主義(英語“Proactive Contribution to Peace)”』は安倍外交の標語として定着している。国際社会の平和と安定に日本が『これまで以上に積極的に寄与』するとは何を意味するか。『外国部隊が住民の保護を怠り大虐殺を傍観することになったルワンダの悲劇を繰り返すことは、国際社会の関わり方そのものの意義が問われる問題でもある』と発題しました。要するに、日本から自衛隊を海外派兵するのは平和維持のためだという論法です。したがって、平和とは、非暴力 non-violent のみでは定義できません。暴力とは、直接的暴力である戦争、軍隊、テロだけとは限らないからです。平和運動を唱導しながら構造的暴力として、組織的

⁴¹ 拙論「危機の時代から刷新の時代へ ―その三―」(神戸国際キリスト教会 2019 年 4 頁)。

⁴² 川村兼一「みんなで考える“ヒューマン・ライツ”」『クリスチャントゥデイ』(2018 年 5 月 16 日付)

<https://www.christiantoday.co.jp/articles/25556/20180516/human-rights-symposium-in-kobe.htm>

⁴³ 拙論「宗教はコロナウイルス後の社会をどう目指すか―第 2 章―」(WCRP 平和大学 2022 年 6 頁)。

抑圧, 経済的搾取, 文化的疎外もあります。平和学の世界的権威であったヨハン・ガルトゥング[1930-2024] は, 文化的暴力として, 構造的暴力を合法化する宗教, 芸術, 科学, コスモロジーを挙げています⁴⁴。

世界的に影響力が強い米国, ロシア, 中国だけでなく軍事予算を増額する趨勢を認めません。私が外資系船舶会社に勤めていた 1970 年代, 日本のコンテナ船は世界を席卷していました。1980 年代後半には韓国に世界トップの座を譲りました⁴⁵。21 世紀に入ると, 中国が製造シェア 98%を占めています⁴⁶。韓国, 中国の躍進に商船関係は太刀打ちが出来なくなりました。日本は商船不振のため, 潜水艦⁴⁷で穴埋めせざるをえない厳しい実情があります。もっとも過去 50 年にわたる神戸工場の商船建造の苦難により, 海上自衛隊の潜水艦用エンジンの燃費データを 30 年以上にわたって改ざんしたりなど工事付替えの不正も影響しています。「商船不振, 潜水艦で穴埋め」と神戸新聞(2025 年 12 月 30 日付)は川崎重工業の苦肉の策から抜け出られなくなっている実情を報じていました。

高市早苗[1961-]内閣総理大臣は, 経済の「デジタル化」DX Digitization (デジタイゼーション アナログ情報をデジタルへ変換)や, Digitalization (デジタルライゼーション 業務プロセスのデジタル化)の時代に遅れまいとしておられることでしょう。神戸国際支縁機構も理事会など対面会議を Zoom のオンライン化に移行しました。しかし, 高市さんはデジタル化より, 「軍事化, ミリタリー化」⁴⁸ MX (Missile Experimental 試作ミサイル)を優先しようとしています。防衛産業の中心は武器産業です。戦争に備えるのは民間ではできません。国が予算を保証します。国民の人頭税に相当する消費税などで得ている予算を首長は采配できる権利を有しています。首長だからできるのです。

c. 宗教は論争の種か

正月早々, アメリカはベネズエラの指導者を連行しました。「力こそ正義」と世界の良心を黙らせました。地球の西半分は分断されつつあります。キューバ, グリーンランド, 中東も先が見通せません。世界大戦から 1 世紀を迎えようとする時に, 「平和」より戦争主義, 軍国主義の暗雲が覆っています。19 世紀前半, ナポレオン戦争などを経て, 1930 年代にナチが台頭し, 恐怖の闇が世界を覆いました。21 世紀に入り, 国際法, 対話などの平和運動の声が掻き消されつつあります。市民運動で肩のスクラムを組みました。三宮商店街, 「フラワーロード」, 南京町(南京街)などは仲間の寄り合う場所でした。初対面でも志が同じだとわかり, すぐに意気投合しました。日朝友好兵庫県民の会の松田正己[1947-2010]さん, 「阪神宗教者の会」事務局長川端 勝[1956-2019]氏たちと声をからして街頭シュプレヒコール, 署名活動, 募金などの仲間たちの願いとは異なる方向に世界は進んでいます。阪神・淡路大震災から 30 年, 鬼籍に入った方も 100 人⁴⁹になろうとしています。

残念ながら, 最前線のラディカルな街頭集會にキリスト者を見かけるのはまれでした。ローマ・カトリック教会三代目で育った者として, プロテスタント教会の牧師の高齢化と後継者不足は深刻な問題です。「汝の敵を愛せよ」と, 言いながら, カルトを敵として排除します。「〇〇とは関係ありません」と教会のトラクト, 『朝禱』誌, 福音派の案内など社会通念からすれば矛盾に気づかない仲良しサークルに映ります。老害と申し上げても過言ではありません。地域社会との接点の希薄化に拍車をかけています。裸の王様です。「言うだけで実行しない」からです。(マタイ 23:3)。かつて十字軍, 魔女狩り, 異端審問をしてきた「悔い改め」がありません。自己救済に完結しています。牧師不足, 献金不足は何が原因か吟味すべきです。

⁴⁴ 『ガルトゥング平和学の基礎』(藤田明史編訳 法律文化社 2019 年 176-177 頁)。同書では, 消極的平和とは戦争のない状態, 貧困や差別といった構造的な暴力のない状態を「積極的平和」と定義している。「平和学の父」。良心的兵役拒否者として投獄される。拙論「なぜ憲法九条はたいせつか」(「憲法 9 条をノーベル平和賞に推す神戸の会」<略称 推す会> 県民会館 2022 年 6 頁)。

⁴⁵ 1956 年, 日本の建造量は英国を抜いて世界一。『毎日新聞』(2025 年 11 月 15 日付)。

⁴⁶ 『東洋経済オンライン』(2023 年 8 月 14 日)。

⁴⁷ 『神戸新聞』(2025 年 12 月 30 日)。

⁴⁸ 『朝日新聞』(2020 年 2 月 5 日付)。

⁴⁹ 「神戸国際支縁機構」ホームページ <https://kisokobe.sub.jp/agreements/5545/>

一方、ウクライナ・ボランティアに行く途上、ポーランドのローマ・カトリック教会、ウクライナの東方正教会、シリア正教会の礼拝は満席でした。聖職者の説教も長時間です。それとは反対に日本の教会は信者数、聖職者数が激少しています。自己説得として、「御言葉を宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもそれを続けなさい。忍耐と教えを尽くして、とがめ、戒め、勧めなさい」(2 テモテ 4:2)と、自己暗示です。

日本のプロテスタント教会、とりわけ福音派に辛口の苦言を申し上げるようになったのは、シリア正教会の Gregorios Yohanna Ibrahim マー・グレゴリオス・イブラヒム⁵⁰, the Syriac Orthodox Archbishop of Aleppo (シリア正教アレppo大主教)に 2008 年にお出会いしてからです。無知であった東方正教会に開眼しました。

東方正教会が西暦 1 世紀から途切れることなく続き、7 世紀以降もムハンマドのイスラーム教⁵¹と共存してきたことは意外と知られていません。

ヘブライ語を教えることによって生計を立てていた私は出会いで「アラム語」について目が開かれました。

シリア正教会では古典シリア語が朗読や詠唱で用いられます。第 8 次シリアボランティアで出席したアレppoシリア正教会のクリスマス礼拝は印象に残りました。ある若者は現代アラム語訳聖書を用いていました。驚きました。なぜなら『キリスト新聞』⁵²はアラム語がシリア内戦で消滅と報じていたからです。しかし、クルドが多いカーミシュリー Qamishli 市ではアラム語、アラビア語、クルド語が公用語です。カーミシュリーの学校でも 3 つの言語を用いるともアレppoシリア正教会で若者たちから聞きました。

私は、ブレザレン派に属しますから、信者の献金に依存せず、聖職者も仕事をもち、生活を賄っています。ギリシア語、ヘブライ語、英語教授が収入源です。受講生は大嶋善直牧師たちに偏りました。しかし、イブラヒム大主教と親交が深まると、腰を抜かささんばかりに驚くことばかりでした。それまで聖書のヘブライ語が世界最古であり、人類の最初の言語だと教えていました。しかし、アラム語、アッカド語について村岡崇光 [1938-2026] 先生の講義で盲信の目が開かれました。キリスト教会、ユダヤ教のシナゴグで用いているヘブライ語はマソラ⁵³学者による西暦 11 世紀のものだと分かってきました。古代イスラエル人は当時の共通語(Lingua Franca)であるアラム語⁵⁴の生活でした。紀元前 1000 年頃から中東全域で国際共通語でした。シリア北東部のカーミシュリー市には 11 以上の教会があります。シリア正教会は一番大きいです。シリア人は、西暦 1 世紀(使徒時代)から一度も途切れることなくリンクしているのです。7 世紀以降もイスラーム教徒ともいがみあわず、共存してきました。シリア人はイエス・キリストが話していたシリア語の直系だと強い確信と自負があります。すなわちシリア人は自分たちこそキリスト教の元祖だと信じています。紀元前 6 世紀頃、メソポタミア全域の行政・外交公用語はアラム語(シリア語)でした。

二番目に唾然としたことがあります。シリア国境から約 5 時間かけて、アレppoにあるアダイ Addai 司祭の自宅にたどり着きました。前回お会いした時、タダイ司祭だと間違えて覚えていました。美和から何度も間違えていることを指摘されていました。なぜならマタイ(10 章 3 節)、マルコ(3 章 18 節)に出ているイエスの 12 弟子の名前だと思いこんでしまっていたからです。西方教会の先入観がそのように勘違いさせました。「アダイ」はシリア語『アダイの教え』に登場します。アダイはイエスが選んだ「七十二人の弟子」(ルカ 10:1,17)の一人です。メソポタミア北部のエデッサ(現在のトルコ・シャンルウルファ)にキリストを紹介した聖人です。

三つ目に、シリア正教会、コプト教会、アッシリア教会などと西方教会とは本質的に異なる聖書理解を知りました。アウグスティヌス[354-430]に感化を与えたアンブロシウス[334-397]からミサ(典礼)が始まりました。最後の晩餐でキリストの前にあるパンはパン種が入っているかどうかについて、180 度理解が異なります。4 世紀頃からはじまった西方教会ではパン種が入っていない無酵母のパンをいただきます。「七日間、家にパン種があってはならない。パン種の入ったものを食べる者は誰でも、寄留者であれイスラエル人で

⁵⁰ 「諸宗教との対話」(神戸国際キリスト教会) <https://kisokobe.sub.jp/international/7254/>

⁵¹ 「イスラーム教世界大会 英国」2025 年 8 月 28 日 <https://kisokobe.sub.jp/proposal/26046/> ムハンマド[570 年頃-632 マホメット(メフ、ムハammad)]「預言者ムハンマド」メッカ(マッカ)生。イスラームの預言者。40 歳頃ガブリエルから啓示。

⁵² 『キリスト新聞』(2019 年 7 月 22 日付)。

⁵³ 拙論「宗教はコロナウイルス後の社会をどう目指すか—第 2 章—」(WCRP 平和大学講座 2022 年 39 頁)。

⁵⁴ 『イエスは何語を話したか』(村岡崇光, 土岐健治 教文館 2016 年 67-83 頁)。

あれ、イスラエルの会衆から絶たれる」(出エジプト 12:19)。ユダヤ教、キリスト教にとり、パン種は「罪」と信じられています。対立する解釈として、シリア正教会では、典礼でいただくパンは無酵母パンではなく、パン種が入っています。東方正教会ではパン種は決して罪とは理解しないのです。『天の国は、パン種に似ている。女がこれを取って三サトンの小麦粉に混ぜると、やがて全体が膨らむ』、とむしろパン種によって神の祝福が満ちて、天の国は膨らむ、と信じています(マタイ 13:33)。

ちなみに 1054 年に別れた東方正教会とではイエスの処刑の日、最後の晚餐も西側と日が異なります。

イエスはカイアファのところから総督官邸に連れて行かれました。明け方でした。だれも官邸に入りませんでした。東方正教会のアダイ司祭は聖書的根拠として、すかさずヨハネの福音書 18 章 28 節を示されました。東北ボランディアで親しくなったハリストス正教会の田畑隆平司祭から入手した新約聖書に注目します。

「彼等^ひイススを曳^ひきあてカイアスより公廨^{くがい}に至^すり。時已^{よあけ}に錨^す平旦^{よあけ}なり、彼等は公廨^{くがい}に入らざりき汚されざらん爲^{ためすなわち} 即^は 過越^す節^す筵^すを食するを得ん爲^{ためすなわち}なり」イオアン福音^す第 18 章 28 節。文語調だと分かりづら
い。現代人でもわかる日本語だと次のようになります。「人々は、イエスをカイアファのところから総督官邸に連れて行った。明け方であった。しかし、彼らは官邸に入らなかった。汚れないで過越の食事をするためである」(『聖書協会共同訳』2018 年版)。イエス・キリストが 12 弟子と最後の晚餐を終えてから、カイファ(カヤパ)の官邸に連行される場面です。すなわち最後の晚餐は、「過越^すの祭(ヘブライ語 פֶּסַח pehsakh)」の日と確定できません。過越はニサンの 15 日です。イエスは過越祭の準備の日、つまり前日の 14 日に殺されました。(マルコ 15:42, ルカ 23:45, ヨハネ 19:31,42)。すると最後の晚餐でイエスたちが食したパンは過越の「種入れぬパン」ではなく、種の入った有酵母のパン、つまりイースト菌の入った膨らんでいる発酵パンになりませんか。ダ・ヴィンチの絵画「最後の晚餐」でイエスの前に置かれているパンは、普通のパンです。ところが、約 1500 年前に始まった西方教会では、種が入っていないパンこそが聖体拝領(聖餐式)にふさわしいと受け継がれてきました。

なぜなら汚れないで過越の食事をするためです。ヨハネの福音書では「最後の晚餐」は「過越の食事」とは異なります。イエスは過越の昼(羊が屠られる)に処刑されるため、晚餐はそれより前に行われていたことを示唆しています。「復幸米」づくりで九州に通っている相良^{さがら}で親しくしている方たちはハリストス正教会信者が多いです。最後の晚餐はニサンの 15 日と信じている西方教会の信者と異なり、14 日もしくは 13 日と信じておられます。

ロシアのプーチン大統領、最高指導者キリル総主教[1946-]傘下のロシア正教会や、ウクライナの正教会もシリア正教会と同様です。東方正教会ではパンについての理解は異なります。パン種の入ったパンを用います。「また種を入れたパンの菓子^{こし}をその感謝のための酬恩祭の犠牲に合わせ、供え物としてささげなければならない。」(レビ記 7:13 『口語訳』)。種入りパン(発酵パン)をいただきます。

西暦 1 世紀に北アフリカ、小アジア、中東で産声をあげたキリスト教は燎原の火のごとく広がりました。4 世紀頃に地中海沿岸でできたキリスト教、とりわけ初代教父アウグスティヌス[354-430]たちによってできた(現在のローマ・カトリック、プロテスタントといった西方教会の教義の根幹となっている)キリスト教会と西暦一世紀から続いている東方正教会のどちらが正しいかという見知でとらえると宗教不信に陥ります。確かに宗教戦争、献金問題、分裂など世界に満ちているように思えます。しかし、海外ボランディアで渡河していると、未知の地で人情、人間性、人道に触れる根っこにあるのは宗教心です。いわゆるスピリチュアルペイン(霊的痛み)によって言語、宗教、民族が異なっても結びあわさります。孤児の家をどうするかという共通の目的をもって磁石のように強固に結び合うのです。そんな関係性の底流には宗教心があるから初対面でも信頼しあえるのです。イスラーム教であれ、ヒンドゥー教であれ、キリスト教であれ、クルドの人たちと笑いながら、地球の将来をどうするか^すの鍵は「宗教」です。

⁵⁵ Passover 神がエジプトの初子を殺した際、小羊の血を門柱に塗ったイスラエル人の家を「過ぎ越した(難を逃れた)」こと。

<結論>

マハトマ・ガンディー[1869-1948]は言いました。「“目には目を”は全世界を盲目にしているのだ」。愛、正義は非暴力から生まれます。戦後日本は憲法において「戦争放棄」を謳いました。決意させたのは、平和への強い希求でした。ですから「戦力の不保持」、「交戦権の否定」も鍵となっています。アフガニスタンで、「100の診療所より1本の用水路を」と荒地をオアシスに変えた中村 哲[1946-2019]医師は「平和憲法は世界の範たる理想」と唱えていました⁵⁶。

近隣の某国の兵士が日本列島に侵入してきたらという仮定を問われたことがありました。あなたのご家族のところに武器をつきつけたらどうするか、レイプという強硬手段を行使する場合でも、無抵抗を貫けるかという詰問をされたことは一度や二度ではありません。“If a violent person threatened to harm a loved one...”⁵⁷(英文書籍 1983年初版)が私たちと同じブレザレン派で発刊されていました。内容はQ&A(キューアンドエー)は「Question and Answer」の略で編集されていました。参考にされた方も多かったと推測しています。

居住している神戸地域には、前述の川崎重工業、三菱重工業、神戸製鋼など他の地域より軍事優先社会です。県名は「兵庫^{ひんきょう}」です。私が非武装を告白し出した1975年から「家族が強姦されても非暴力を貫けるのか」、という難詰は友人、教え子、警官から珍しくありませんでした。私も20代半ばをすぎると、宗教的生き方が重要なウェイトを占めるようになっていました。周囲の進化論者⁵⁹は生命が創造者によって創られたのではなく偶然の所産だと詰めよりました。神戸・ポートアイランドの神戸市立青少年科学館(現バンドー神戸青少年科学館)は1984年の開館以来、家族3人でよく訪問しました。学校時代、あまり勉強せず、野原を駆けずり巡っていたせい、すべてが新鮮で砂地に染みこむ水のように吸収できました。原始の海(有機スープ)から「生命の誕生」という視覚に訴える模型、展示、説明には宗教者故に反論したくてもぐーの音も出ませんでした。生命は創造者によってつくられたと信じていたものの教え子たちが理科の先生たちに生命は偶然の所産と刷り込まれて、しょげてくる日々が続きました。そんなある日、一冊の有益な本に出会いました。フランスの数学者エミール・ボレル⁶⁰[1871-1956]の古い本です。「宇宙的規模で無視できる確率」として10の50乗分の1という数値を提示していました。つまり現実上、有機スープから生命の発生確率はほぼゼロだと論駁に結びつけることができる内容でした。「宗教」と「科学」の対決ではありません。ものの考え方も二頂式から徐々に脱却し始めました。すると、軍事侵攻してきた兵士が1億以上いる日本列島の中で兵庫県神戸市垂水区の明舞団地の自宅の家族を襲う可能性を確立で考えると物理的に可能性ゼロとなります。ともすると右翼はありもしない仮想で武器を持ち戦うように仕向ける詭弁を用いて挑んできます。物事を学ぶには年齢はもう若くありませんでした。しかし、聖書的思考を研鑽するようになりました。二元論(善か悪か、光か闇か)ではなく、何が宇宙の始原者の意志かを黙想、熟考、研究に専念し、牧師になりました。「その剣を鋤に その槍を鎌に 打ち直す。国は国に向かって剣を上げず もはや戦いを学ぶことはない」に基づいて「生きるも、死ぬもキリスト」に変えられてきました(ローマ 14:8)。

アレppoの惨状は原発の破壊力を想起させます。子どもは戦闘員ではないのです。人類が取り返しのつかない過ちをする前に、人類の宝である「憲法9条」に基づいて闇から夜明け前にと祈ります。

説教原稿を、神戸国際支縁機構の村田充八理事に校正していただきました。また不明瞭な箇所について訂正していただきました事務局の村上裕隆、徳留由美、佐々木美和の文章表記精査に感謝します。

⁵⁶ 季刊誌『支縁』No.54(2026年2月1日 1頁)。

⁵⁷ “If a violent person threatened to harm a loved one...” John H. Yoder, Herald Press 1992 Herald Press, p.14.

⁵⁸ 「兵庫(つわものぐら)」大化の改新の頃から、戦禍の兵器を収納する荷蔵。

⁵⁹ ソ連の生化学者アレクサンドル・オパーリン[1894-1980]が原始の海(有機スープ)から「生命の誕生」という理論を1924年に提唱した。

⁶⁰ エミール・ボレル[1871-1956] フランスの数学者。現実上、発生確率はほぼゼロ。『確率と生活』(原題: Probabilités et certitude, 平野次郎訳 文庫クセジュ 1967年 57頁)。

<感謝> 各方面から岩村についての問い合わせが続きますので、お応えします。

アレッポの「カヨ子基金」の孤児の家は損壊など紆余曲折がありました。

2024年のロシア・ウクライナ戦争、イスラエル・ガザ戦争、ミャンマーの内紛などを見聞きし、「平和」は、過去の思い出になろうとしています。

そんな時代だからこそ、皆さまから支持されている神戸国際支縁機構、「カヨ子基金」は地道にボランティアを展開させていただいています。阪神・淡路大震災から31年、東日本大震災から15年、熊本・大分地震から10年、能登半島地震から2年です。1月9日には島根県東部で震度3以上を観測しました。いつ地震、風水害、災害が起きてもおかしくない日本列島です。

創業者岩村義雄は、アフガニスタン・ボランティアから帰国した直後、歩行ができないほど身体は衰弱していました。今までのつもりつもった疲労などのため死線を彷徨いました。

神の憐れみでしょうか。海外をはじめ日本各地で被災なされた家族のようになった方々に希望の灯をともしように、12月2日、医師たちは歩けるように服してくださいました。緒方俊一郎先生、村田充八理事、有田貞一牧師をはじめ多くの方々から愛され、慰められ、励まされ、昏睡状態から立ち上がることができました。教会、皆さまのお祈りとりとご厚情によるものと感謝しています。

入院は、四半世紀以上にわたる海外ボランティア、能登ボランティア、毎月、東北と九州の復幸米作り、後見人ボランティア、炊き出しなどの困憊のためです。常日頃、神戸国際支縁機構を応援してくださる藤原りつ子名誉会長の朝霧病院に北村恭男理事が搬送してくださいました。弓岡稔貴医師はアフガニスタンでウィルスに感染、下垂体炎の疑いのため、MRIなど検査、丁寧に加療されました。神戸大学医学部付属病院に転院し、マイケル・シャクルトン理事、私が乾妃那医師の説明を受けました。岩村にとり、生まれてはじめての病院生活でした。

無休で「生き急ぐ」働き方に明け暮れていました。ボランティア人生を振り返る機会となりました。本人は退院後、季刊誌『支縁』の編集後記に綴りました。

朝霧病院、神戸大学医学部付属病院で生きた屍^{しかばね}として譫妄^{せんもう}で心神喪失でした。しかし、はじめて教えられました。16歳の時、恩師末次一郎[1922-2001]は、「自分を捨ててその土地に順応してしまおうとするからこそ、いままで経験したことのない低い生活が平気でつづけられる」と私に諭しました。ボランティアこそ、未開と貧困に挑戦する道と思ってきました。入院してはじめて看護のお働きを身近に拝見しました。注射器や薬などの医療ではありません。昼夜を問わず、ケア(治療する)より、ケア(手当て)する献身的な働きに接し、打ち砕かれました。1872年に来日した医師ジョン・カッティング・ベリー[1847-1936]がこの病院だけでなく、日本で最初に監獄調査をし劣悪な環境を解放するために西日本を回りました。神戸国際支縁機構はベリー宣教師に倣う働きです。人権が軽んじられている人々を解放する働きを始めた病院に入院できた恵みを感謝しています。

編集後記 季刊誌『支縁』No.53 2025年11月号 岩村義雄

甲状腺ホルモン、コルチゾール⁶¹、性ホルモンの数値は最低。数値はあがらないはずが回復。医師曰く奇跡でした。こむら返り、便秘、譫妄も解消されました。国の内外に出て行く青信号でした。今年のクリスマス・ウィーク、雪に埋もれるほどの奥能登、またシリア国アレッポの孤児たちの安否を岩村もみなさんも共に確認できて喜んでいきます。

「カヨ子基金」代表 佐々木美和

⁶¹ 副腎皮質の束状層で産生されるステロイドホルモン。(ヒトの最も重要なステロイドホルモン)の分泌を促す副腎皮質刺激ホルモン。